

真養だより

題字: 中学部2年 金谷 くるみ さん

「令和4年度のPTA活動を振り返って」

北海道真駒内養護学校PTA会長 北條 俊介



今年度を振り返ると、昨年同様にコロナウイルスとの闘いであったのは間違いありませんが、コロナ禍になり3年の月日が経過し社会の風潮も、対策をしたうえで活動していくのがスタンダードになりつつあると思います。世間では大規模イベントなども続々と開催されて、ようやくコロナ禍の出口が見えつつあるように思えます。

本校においても、制限はあるものの行事が再開され、改めて思いましたがその場で見たり、聞いたり、話したりすることは非常に大事だと気づかされました。特にこのリアルでの体験というのは、子どもたちにとっては非常に大事です。しかしながらICTによるオンラインなどのツールにも良さがあるので、TPOにより使い分けをしていくのがコロナ禍後の形だと感じました。何事もバランスが大事だと思います。

コロナ禍になってから3年以上経過し、長期にわたって子供達の為に色々な対策をしていただいた学校の方々には感謝しかありません。通常業務の他に感染対策を行うのは想像以上の苦労があると思います。この場を借りて改めて言わせて頂きます。いつも本当にありがとうございます。

今年度は子供達にとって楽しいイベントが、一部形を変えての開催となりました。子供たちの笑顔、笑い声が聞くことが出来ました。来年度は、より多く開催出来ることを願っております。今後も皆様と一緒に子供達のことを一番に考えて、よりよいPTA活動を行えるよう携わっていきたいと思います。

令和4年度 PTA 活動報告

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けた PTA 活動でしたが、感染症対策を行いつつ、一部のイベントや活動を実施することができました。令和4年度の活動について、各コーディネーターからの報告をお伝えします。

「研修活動」

今年度、研修会の開催を検討するにあたり、事前に保護者の皆様から知りたいことや欲しい情報など、アンケート調査を行い、それをもとにどのような開催方法が可能か、担当の先生たちに相談に乗っていただくところからのスタートでした。色々協議を重ねた結果、研修担当が皆様を代表する形で事業所を見学させていただき、その様子をビデオ撮影して視聴してもらう形の研修会を開催いたしました。

ご協力いただいた事業所は、楡の会、グループホームはびねす、生活介護事業所おおぞら、北海道リハビリリー、障害者支援施設美しの森です。撮影しながらの見学に快く対応していただき、事前の保護者からの質問にも丁寧な回答をいただきましたおかげで、研修会に参加された21名の皆様とともに有意義な時間を持つことができました。

ご協力くださった事業所の方々、先生方、ご参加いただいた保護者の皆様、誠にありがとうございました。

(高等部2年P 浅田 江里)



「環境活動」



今年度の活動内容は、ガラス拭き・イエローレシート活動を行い、皆様に協力していただきました。

ガラスふきの1回目は9月16日(金)に、2回目は2月17日(金)に行いました。多くの方々に参加していただき、無事作業を終えることができました。

平成25年から参加させていただいているイオンのイエローレシート活動については、ありがたいことに沢山の商品を購入させていただきました。今後も引き続き、イエローレシートの活動へのご協力をどうぞよろしくお願いします。

今年度も保護者の皆様には、活動へのご協力ご理解をいただき、ありがとうございました。

(小学部3年P

大野 亜希)



「広報・防災活動」

今年度も広報では昨年同様「みんなの広場」「真養だより」を発行しました。みんなの広場の発行については、2学期に保護者と教職員にアンケートを実施しました。アンケート結果では、64%の保護者と38%の教職員が



「現行どおりの発行」を選択しており、「新転入生と教職員のみ掲載で発行」、「発行しない」を上回りました。この結果を受けて、次年度も発行する予定ですが、個人情報保護に留意した発行を引き続き検討していくこととなりました。

防災の活動では、1年ごとに入れ替えが必要な防災食、おかゆ、ビーフシチュー、照焼チキン、きんぴらごぼう、芋きんとんと、賞味期限の近いアルファ米とLLカレーを全校生徒に配布しました。昨年度の試食会と今年度の事務局会での試食をもとに検討し、今年度はライフストック、尾西のカレーセットを新たに取り入れて購入しています。

(中学部1年P 鈴木 由紀子)

「第65回全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会 PTA・校長会合同研究大会（北海道大会）」

8月26日（金）に、全国の肢体不自由の特別支援学校PTAがオンラインで参加する研究大会が行われました。今回の大会は、手稲養護学校を主管として、全道の肢体不自由の特別支援学校が協力して運営を行いました。

大会の詳しい内容は、12月23日（金）に発行した第2回事務局だよりをご覧ください。なお、研究集録が学校に届いています。関心のある方は、教頭にお問い合わせ下さい。

文部科学省の菅野視学官による基調講演の際は、北條PTA会長が講師紹介を務め、岡嶋副会長が司会を行いました。「医療」をテーマにした第5分科会では、校長が司会、本校の4名の教員が記録を担当しています。また、教頭と教諭1名は街中のスタジオに出かけて、分科会の配信等のコンピューター操作を担当しました。全道の肢体不自由の特別支援学校のPTAが、手稲養護学校を中心に協力し合うことで、大会を無事終了させることができました。

次年度は、7月30日（日）～31日（月）に、栃木県にて参集型で行われる予定です。詳細がわかりましたら、みなさんにお伝えします。

「第57回北海道特別支援教育振興大会・第47回北海道特別支援教育関係PTA研究大会・第22回合同大会（岩見沢大会）」

10月23日（日）に、3年ぶりに開催されました。全道を9ブロックに分けたサテライト会場に集合して、ZOOMをつないで行うというハイブリッド形式での開催でした。本校からは、北條PTA会長、校長、副校長、教頭の4名が伏見支援学校に行き、参加しました。

大会の詳しい内容は、12月23日（金）に発行した第2回事務局だよりをご覧ください。なお、北海道特別支援教育関係PTA連絡協議会副会長を兼務している北條PTA会長には、講演の最後に講師に謝辞を述べるという大役をいただいています。

次年度は帯広を会場に10月頃開催される予定です。どのような形で開催するか現在検討中ですので、詳細がわかりましたらみなさんにお伝えします。

(教頭：越田 淳)

おやじの会の活動について



「PTA おやじの会」では環境整備や夏祭り、冬あそびを例年行っていましたが、令和2年度よりコロナの影響で活動することができませんでした。今年度は感染症対策をしながらの実施でしたが、3年ぶりに夏祭りを開催することができました。例年は出店など食事をするものでしたが、with コロナとして食事ではなく、ヨーヨーとり、くじ引き、魚釣り、パラスポーツ体験そしてステージでの本校に所属する生徒・職員による「動・夢・舞」様のよさこい演舞など楽しく取り組める出店や体験コーナーを中心に会場を盛り上げることができました。次年度はさらに活動の機会を増やすとともに皆様に楽しんでいただける運営を行っていかれたらと思います。活動に参加していただいた皆様本当にありがとうございました。

(おやじの会事務局 朝見 圭祐)



＜編集後記＞

今年度も皆様のご協力のもと、PTA活動を無事終えることができましたことに感謝申し上げます。コロナウィルスの影響が収まらない日々が続いておりますが、引き続き次年度のPTA活動も皆様のご協力をお願い申し上げます。

「真養だより」発行にあたり、お忙しい中ご協力いただきました職員の皆様方、保護者の皆様方に深くお礼申し上げます。



(小学部6年P 安部 恵美)

北海道真駒内養護学校 P T A

〒005-0011

北海道札幌市南区真駒内東町2丁目2番1号

T E L 011-581-1782 (代表)

F A X 011-581-1892

ホームページ <http://www.makomanaiyougo.hokkaido-c.ed.jp>

